

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズ東松山		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2025年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校とは違う縦割りの関わりがあり、全体で活動することにより、人との関わりが広がる。	未就学児の子も一緒に活動することにより縦割りの関係性が生まれ子ども同士で関わる機会を意識している。	個別活動・集団活動のメリハリをつけて活動に取り組んでいきたい。
2	日案作成では、職員の個性が生かされていて、活動内容が充実している。	活動プログラムもマンネリ化しないために全体で工夫し意識している。	食育活動も積極的取り入れ行く。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援する部屋がない。	リフォームも視野にいれ、職員間でもアイデアを出し合い考えていきたい。	スペースの確保が出来るように配置を考えていきたい。
2	地域交流が出来ていない。	地域の情報収集に取り組んでいく。	地域の事業所や、近隣の施設や行政機関にも情報の確認をし、取り組んでいきたい。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	緑キッズ東松山		公表日	2026/2/27		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	広い訓練室での活動を工夫してすぐしています。	個別の部屋がなく、クールダウンする部屋がない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	人員配置は気を配りながら配置を考えている。	支援が行き届くように配置には気をつけています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	玄関やフロアはバリアフリー化されていて分かりやすい環境になっている。	トイレが狭く、バリアフリーになっていないので、支援の工夫も必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	支援終了後に、清掃・消毒を毎日行っている。	玩具など消毒する時間が取れるようにする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4	個別の部屋が難しいので、環境や活動を分けて支援している。	個別の部屋の確保が難しいので、活動を工夫して行っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	ミーティングを行い、目標や振り返りを全体で共有している。	パートさんにも共有できるように工夫して行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	評価表をもとに改善している。	今後も改善に向けて努力していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	朝礼やミーティングで職員間の意見交換を行っている。	今後も定期的に行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部評価が出ていない。	出来ていないので、出来るように努力して行きたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	本社スケジュールの事業所内研修は行っている。	パートさんにも研修の参加する時間を設けていく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	ホームページにて公表している。	見直しをして公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	年2回保護者面談を行い、アセスメントも行っている。	今後も継続して、より良い支援に繋げていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	ミーティング等で、情報共有し子どもたちの様子を伝えている。	今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	支援会議を定期的に行い、支援に繋げている。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	インフォーマルアセスメントは行っている。	フォーマルアセスメントは専門職の配置がなく出来ていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	5領域を意識し、支援内容を設定している。	職員全体で支援内容が共有できる時間を設けていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	日々、日案作成をし、全体で共有している。	準備などはパートさんにも協力してもらえようように時間を設けていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	職員の経験を生かし、活動内容を工夫している。	パートさんにもアイデアを出してもらい全体で内容を工夫できると良い。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	日々の子どもの状況を見ながら支援の工夫をしている。	クールダウンする部屋の確保が難しいので、支援の工夫が必要。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	朝礼にて、日案者に説明支援内容の確認をしている。	目標も立てて共有し行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	翌日に行っている。	気付いた点・問題点があればその日のうちに共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	振り返りの記録を取っている。	パートさんにも共有する時間を取る工夫が必要。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	支援をもとにモニタリングを行い、ミーティングなどで見直しをしている。	継続して行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	活動にも工夫しながら支援を行っている。	地域交流がないので、活動の工夫が必要。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	見本を見せたり、可視化して自己決定を促している。	ツールなどを増やしてその子に合った方法も考えていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	教育機関との連携は出来ている。	協力医療機関はあるが、連携までが出来ていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校のお迎え時や保護者様から情報共有を行っている。	今後も継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	担当者会議を行い、共有している。	今後も継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	担当者会議を行い、共有している。	今後も継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5	出来ていない。	機会があれば参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	出来ていない。	交流の機会を検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4	出来ている。	今後も継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時や連絡帳やメール・電話を通して共有している。	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	家族支援プログラムは出来ていない。	ペアレントトレーニングの研修を受け、機会を設けていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時にお伝えしている。	今後も丁寧な説明を心掛けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	年2回保護者面談を行い機会を設けている。	今後も継続してより良い支援に繋げていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	同意を得ている。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	送迎時や保護者面談にて行っている。	相談があれば都度、対応し相談する時間を設けていく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	1	保護者会を開催している。	保護者同士の交流がないので、保護者会を通して機会を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	すぐに対応している。	継続して行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	毎月お便りを発行している。ブログも毎月更新している。	継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	キャビネットに保管し、鍵もかけている。	継続していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	ツールを活用しながら、出来るだけ分かりやすく伝達している。	今後も丁寧な対応を心掛けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	出来ていない。	情報収集を取り組んでいく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	ご家族とは出来ていない。	手紙やお便りなどで周知出来るように工夫が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	事業所内で研修を行っている。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	行っている。	保護者様にも定期的に状況確認をしていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	指示書はないが、検査結果などはいただいている。	今後は保護者様に確認して指示書の対応があれば対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	行っている。	必要に応じて研修や訓練を行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	出来ていない。	お便りや面談等で周知して行きたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	行っている。	ミーティングなどで共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	研修を行っている。	外部研修も参加していきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	記されている。	身体拘束はしない支援方法を考え支援をしていく。	